京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金…▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久伸一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

國士金玉均氏（四）

斯くて池運永が渡來の目的暴露されたるを以て六月二十二日其本國に召還せられたり然れども金玉均の身は尙安全なりと云ふを得ず果然翌七月二十六日に至り日本政府は期限以內に日本國を退去せざりしを理由として彼を橫濱伊勢山なる三井の別莊に抑留せしがやがて八月七日金玉均は日本政府の命に依りて小笠原島に移されたり於此金玉均及隨從者等は此の日本政府の處置を無情なりとし痛く怨み思ひしが如し去りながら親日派の領袖として閔族及事大黨が挨擊の標的たりし金玉均の生命は其の小笠原島に移されしに依て初めて安穩なるを得たるは後年刺客洪鐘宇の爲めに閣殺さるるや軍艦を以て其屍體を淸國に輸送し其首級は楊花鎭に梟せられ遂に八道に示されたるを以て之れを推知することを得べし當時幾多亡命の士が生命を今日に全ふするを得たるさ同日にして語る能はざるものあるなり此の將に小笠原島に向つて去らんとするに方り政友に寄たる一絕を左に錄す

諮々拘囚伊勢山、不妨推轂出閑關、天空好與東風便、千里笠島一日還、

金玉均は實に此の心を以て發途したるなり。

此の人愛國の至誠は鬼神を泣かしむるに足り殊に其の宇內の大勢に通せるの一事に至りては時の韓國政客中一頭地を拔けるものあり然ども唯惜むらくは氣宇雄大なりといふを得ざらん乎前揭の詩既に之れを證するのみならず其の池運永の事に關し國王に上りたる書に徵せよ若し此の人にして此の短所微せば彼の孔明が出師の表にも比すべからん將た又李鴻章に致したる書を見よ唯其の勇と識とを示せるに過ぎず。

金玉均の國王に上りし書

大朝鮮國主上殿下に白す臣の微衷を述べて聖聽を煩はさんと欲するや久し天意震怒將に過激い擧あらんとするを聞き時機無きを以て今に至れり然るに頃ろ池運永なるものあり突然日本東京に來り日本人某々に向ひ約して曰く大朝鮮國統理軍國事務主事池運永大君主の特命を受け全權斷賊大使の委任狀を帶びて來る（續く）

暘綠左岸の鑛物

平安南道に於ける鑛物と殆ど甲乙なき鑛量を包含すべく思はるゝは平安北道より上流に於ける慈城郡の砂金は其世に著はれたること既に久しく下つて江界碧潼諸郡も多少の鑛物あり曾て列國均霑の時代佛人この二郡を探險すること周到なりしも英獨等いづれも大鑛脈を發見して其一を擇びし末なるを以て佛も若し其一を得れば均等の權利は之れにて濟まさるゝ譯なれば爾來幾多の鑛脈を見るも之れに手を着けずして進んで朔州郡に入り今や朔州は日韓人は勿論歐洲人等が探險の焦點とはなりぬ乃ち安東縣濟人市街の怡隆公司獨人を根據とし居る獨人等は一昨年以來每月一萬圓以上の費用を投じて試掘を爲しこれが爲めには安東の日本商人三戶之れが用途を爲して不景氣中の商賣として立派な利益を擧げたる事さへありしも歐州人等は何の見る所ありしか昨冬に至つて一時抛棄の風說ありしのみならず實際各事務員も此地を引揚げたりしが今年に入つて再び入り來り益々力を注ぐの狀況なり而して其遣り方の如何にも大腹肚にして韓人駕馭に妙を得たる徵力にして且小量なる邦人等は只々舌を吐きて驚歎するの外なきなり其一例を擧ぐれば探鑛作業の如きも始めより若し此の鑛脈有望なりとすれば探鑛道にて大規模の採鑛を爲し得べく高さ五尺餘の岩石を堀貫き之れが鑛石の如きは一に韓人等が拾ひ去るに任かせて問はず其の三尺每に一々鑛石を分析して坑內地圖に之を記入する等實に目も覺る計りの整頓なり其他に在つても附近韓人等が鑛石を搜し來つて鑛脈の發見を告ぐるや先づ之を分析して其の含金量を檢し稍見込みあるものは人をして之を實査せしめ之れに採掘特許願に要する費用を與へて韓人の名にて出願せしめ之れには只一年後見込み立たば幾萬圓にて買收することを諾すてふ約束を爲すに過ぎざるが如きを日本人等が鑛質の稍々佳なるべく思はるゝものは直ちに其見取り圖を製し久しく無許可にて採掘しつゝある韓人を出拔きて之れが特許を得るに比し其襟度の高明なる韓人を心服せしむるも宜べなりと謂ふべし然れども此間に於て日本人も亦[illegible]多くの金鑛を得たり但だ其の得たるものは多くは資本なくして獨り探險に長じたるの人なりしを以て未だ資本家との結托を得るに至らざるも若し他年二三の資本家が之れに資金を投ずるに至らば此地方必らず日本人の関咽を見るに至らんかと實地を踏査せし人は語れりと

統監と鐵道新設

韓國に於ける軍隊の行動を自由ならしむるには更らに進んで道路を開鑿し鐵道を敷設するの要ありとて寺內統監より赴任前廟議に提案し既に關係の意見も統監と略一致し居る由なるが同鐵道は元山其の他樞要の地區に延長し既設鐵道との連絡を取り軍事的の必要を充たすと同時に海陸に於ける各種事業の開發を計る時は近き將來に於いて十分なる收入を見るに至り利子補給の必要もなかるべし而して其の敷設費には韓國鐵道公債を募集して之に充つる考なりと右は非募集主義と相容れざるの觀あるも韓國に於ける特種の事業なるを以て特別に募債の方法に依ることに內定したるものなりと

●拓殖局の擴張問題

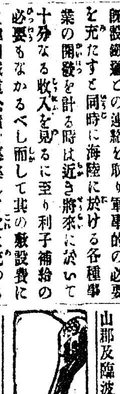
國家の膨脹發展に伴ひ本邦も亦列國の如く完全なる殖民省の創設を要すべしとは後藤男の宿論なるが經費其他の關係上より素思を遂行する能はずして漸く拓殖局の新設を見るに至りたるが男は出來得べくんば明年度より同局を一省と爲し現行官制の如く單に各殖民地に關する事項を統理するに止まらず積極的に指揮監督して具體的に各殖民地の經營に任せん方寸にて其旨既に閣員にも內議に及びたれども寺內統監は絕對に之に反對し韓國の統治に就ては現行官制所定以上は全然拓殖局監督の圈外に存置せんとの主張を有し又政府には海軍充實其他多額の財源を要する新事業も多々ありて經費等の都合もあれば旁々本計畫は其の成立を見る事當分困難ならんと云ふ

●水利組合工事水害

臨益水利組合よりの報告に依れば最近三十年間類例を見ざる降雨頻繁にして組合實山里出張所に於て觀測せる雨量に依るも本月一日百三十二粍本月七日の百五十粍及今回の百九十二粍を最大雨とし六月一日以來實に六百八十七粍の大雨量に逹せり之れを古老に聞くに今より三十六年前甲戌の歲大雨至り大洪水三回を見たるも僅かに一回に過ぎず本年の如き大雨洪水の三回に逢へるは未だ甞て知らざる處にして今其損害高を聞くに最も甚しかりしは十四日未明より十六日朝に至る一晝夜以上に亘る暴風雨にして雨量百九十二粍に逹せるを以て腰橋、堤、溢流堰及北門假堰は極力防禦の方法を盡したるに拘らず十六日午前四時二十分に至り貯水池水量は實に八尺七寸に逹し假堰を越ゆるに至りしを以て終に溢流假堤延長四十間は一瞬にして決壞せられ爲めに益山郡及臨波郡の境界にある平野は約三千町步平均二尺及び三尺の浸水を見るに至り船舶八艘を以て人畜の賑急手當を爲し又各村に於ては炊出を配布したるが幸にして人畜の死傷なく前記三千町步に與ふる損害は殆んど豫知するを得ず若し今後數日間浸水を排除し得ざる時は少なくとも損害三十萬圓に逹すべしとの報告ありたり

●韓銀の砂金買收額

平壤韓國銀行支店本月中の砂金買收額を聞くに同一日より二十五日迄の聞額にて一日平均二貫內外に上れる趣きなるが內產出量の最多きは朔州にして全產出額の半を占め次で順安地方の由なるが今日迄の狀態に依りて徵すれば本月も末日迄には全買收額五十貫目以上に上るべしといふ



講談 大岡政談 越後傳吉 第三十五回

旭堂南陵講

錢儲けをせんがために六年の間苦しんで戾つて來た家の主人、親とはいひながら「マア傳吉どん歸りか、懷しや」と庭へ飛んで降り、足を洗ふ水ぐらゐは自分が汲んで「サアれ上り」と草鞋の緒を解いて呉れるやうにするのが親身の情愛、火鉢の前へ座つて醉ッぱらつて居眠つたまゝ勝手に足を洗つてれ上りと言はれた、大概な人間だつたら何を吐しやアがる、この婆奴變だナと直ぐに疵附くんだが、其所は傳吉例の正直一片の人間、一寸も怒らない、自ら下駄を提げ、流れ川へ行つて足を洗つて上り込んだ、その間に婆さん德利などを片附けて 早「傳吉どん、何かへれ江戶へ行つて六年振り歸つて來たんだが些と金子を儲けて歸つて來たかね」 傳「ハイ悅んで下さいまするやう、れ陰さまで金子儲けをして參りました」 早「爾うかね、併しマア傳吉どん何の位の金子を儲けたかは知らないがね、れ前の行た後は死で不仕合せ續きだよ」 傳「ハイ、れ梅は何うしました」 早「那の娘は今一寸用があつて出て行きました、モウ歸つて來るだらう……」云つてる處へパタ〳〵と駈けて歸つた娘れ梅、裏口から頓狂な聲で 梅「阿母ア、アノねれ庄藏さんがまた遊びに來るからッて、斯う言つて居つたわ、庄左衞門の阿父さんも來るんだから、阿母ア庄藏さんも一緒に來るよ」 早「コレッ……」ハッと眼で知らせて 早「和女何を言ふんだね、そんな氣樂なことを言ふものぢやアないよ、傳吉どんが歸つて來たよ」 梅「ハア〳〵」れ梅は裏口の柱に凭れて 梅「マア傳吉どん」 傳「オ、梅か、汝ャア壯健で結構だのう」 梅「アラ傳吉さんかね」不思議さうな顏をして傳吉を見ながら暫らく立つたまゝ 梅「能くれ歸りだつたね」 早「マア何を呆然して居るの、この娘は……仕樣がないぢやアないか、傳吉どんが六年振り歸つて來たんだ、何とか物をれ言ひなね……マア傳吉どんれ前さんが久振りで歸つたものだから、何から言はうと思つて呆然して居るのだらうよ」 梅「マア〳〵傳吉どん御機嫌宜しう……」力の無さゝうな物言ひ、慳な鹽梅で母娘の者が不精〳〵ながら傳吉の側へピタリと座つた 早「れ梅や傳吉どんは江戶で金儲けして歸つたと今いふたぢやアないか」 梅「爾う、傳吉どん澤山儲けて來たの」 傳「ハア悅べ、れ落でのう、乃公ア金儲けをして來たい」 早「時に傳吉どん」 傳「ハイ阿母さん」 早「マア何の位儲けて來たかは知らないがね、れ前が出て行つた後は年々の不幸續き、れ前が出て行くと間もなしにれ梅が病つて、漸うれうめが治つたら、今度は妾がまた病氣、親子の者が交る〳〵病らひづめ、迚も〳〵れ前の方から送る小遣錢だけぢやア藥代にも足らない位、それに就けても御親切なのは名主の庄左衞門に庄藏さん、傳吉の不在の間は親類筋だから相談對手に成らうといつて、毎度見舞に來て下され、一兩はましよ二兩はましと、大分に借金が出來た、マア些とやそとの金儲けでは何にもならない何の位れ儲けだつたね」 傳「ハイ、阿母さんれ名主の方で何の位の借金が出來ました」 早「さうさね、一寸借金ばかりがマア十五六兩も出來よ

東京電報

▲東宮殿下避暑 皇太子殿下には妃殿下御同伴にて本日午前八時三十分上野發日光田母澤御用邸に行啓遊ばさる（三十日）

▲福岡工科大學 文部省は明年九月より福岡工科大學を開始するに決定し教授等の任命を發表し又校舍、機械、器具も其內に大体を整ふべし（同上）

▲岡崎中將葬儀 前韓國駐劄第十三師團長陸軍中將岡崎生三男生前の功勞を思召され 聖上皇后兩陛下には祭粢料として金壹千圓御下賜相成り昨二十九日新潟縣高田に於て葬儀執行に就き勅使として濟樓新潟縣知事を同家に差し遣はされ幣帛下賜せられたり（同上）

▲市長選擧無効 臨時大阪市會に於て選擧したる市長候補者選擧の結果に就き當該官廳より右は市制第三十八條に抵觸したるより無効なりと同市役所に通知ありたり

▲有珠山大鳴動 一旦沈靜せし有珠山は昨日より再び鳴動強烈を加へ數個の新噴火口を生じ前途如何なる慘擧を實現するやも計られざれば道廳より植田事務官警官を隨へ現場に急行せしめたるが古新噴火口崩壞區域は西北の方向約三里の間に多數の龜裂を生せり昨晩の噴火は其の噴火口の附近に二三の爆裂噴火口を現出せるが如きも危險にして調査出來ず住民は悉く避難し居れるも同夜二時頃同山附近は大噴烟あり

▲留學生費の增額 本年度海外留學生費は二十八萬圓なるが福岡東北兩大學及び直轄學校の擴張より自然增加すべく又年次支給額は淸國千五百圓歐米千八百圓なりしが年額七百圓增加の必要ありとて文部省は明年度豫算に約三十二萬圓を計上したり（同上）

▲獨太子御來朝 獨逸皇太子殿下御來遊に關し獨乙大使館付ウオールド博士の語る處によれば同殿下には五年前現妃殿下と御結婚歐洲御旅行あらせられたるも世界的御旅行は今回が始めてにて御旅程決定後發表せらるべく御來朝の期は多分九月頃となるべく而て妃殿下は御同伴あらせられざるべし（同上）

伯林電報

▲鐵嶺丸の追懷 獨逸新聞は鐵嶺丸の沈沒に關しメクレンブルヒ攝生王アルブレヒト殿下が日本よりの御歸途同船に便乘せられ且つ其の航海を非常に賞贊せられたる事を追懷しつゝあり（三十日）

鐵嶺丸の沈沒續聞

遭難鐵嶺丸の沈沒に關し其後聞き得たるところ左の如し

▲本船沈沒さ告示 關稅局にては遭難船鐵嶺丸が本月二十三日全羅南道南西岸孟骨群島嶼附近に於て沈沒し乘客船員併せて多數の行衛不明者を生ずるに至り今に踪跡明ならざるに付附近通過の船舶にして左記各項の事實に遭遇したる時は其の日時場所其他參考さ爲るべき事實を詳悉して便宜と認むる稅關稅關支署、稅關監視署、警察官署、燈臺等に迅速申報すべし 但物品を發見したる時は可成收得し散逸せざる樣處置し前記官衙に引渡すべしと告示をなしたり

申報事項
一 船體の存在を發見したるとき
二 遭難者の屍体本船の破片屬具又は乘客船員の所持品と認むべきもの其他本船沈沒に關し表證となるべき事實を發見したるとき

▲行衛不明者 本船の行衛不明者は今日迄の所にては總數九十三名にして內乘客六十四名船員二十九名なるが既に救助せられたる人員は何れも端艇に乘り移りたる者のみ其他海上に漂流したる者又は沿岸に漂着したる屍体は今日まで未だ一個も見當らざるに依りて察すれば或は交通絕へたる無人の小島等へ上陸して猶ほ生存し居る者あるにあらずやとの望みあるを以て各警備船は沈沒場所附近の島嶼を搜索しつゝあり

▲收得物品 木浦稅關所屬榮丸が商船會社木浦支店へ引渡したる物品如左
ボート一隻 タンク二個 オール十一本 ライフブイ廿四個 舵及附屬金物二點 物品入籠一個 マスト一本 ダレチング四枚 レツドライン二本 バケツ二個 ランプ二個 ブイ二個

▲行衛不明の端艇 第一、第二、第三及第六の端艇は全部救助せられたるも第五號端艇は今尙行衛不明にして本船殘留者約四十名（船長一等運轉士、一等機關士及其他患者ありしと云へり）は沈沒の際或は共に溺死せしものにあらざるか引續き都丸を以て各島嶼を搜索中なりと

探險船は磐城艦
（專門學者二名同行）

白瀨中尉南極探險隊の乘船に就て各方面適當なる船舶を物色中なりし野村探險船長は佐世保軍港に繫留中なる軍艦磐城（六百六十七噸）を最も恰好と認めて大隈伯の斡旋により財部次官の手を經て齋藤海軍大臣に貸與を請ひ同大臣の同意を得、更らに川崎造船所に同情ある修繕方を交涉して快諾を得たれば二十三日同造船所の寺井技師と伴に佐世保に急行して檢査を了したれば多分磐城艦を以て探險の途に上る可く一行中の專門學者は大學院在學文學士碧海氏の外天文學者として滋賀縣大津中學校の某教師同行する事となれり

衛生取締の勵行

長期の降雨に因り衣類器具等濕氣を帶びて各種傳染病發生の虞あり特に昨今海外に於ては既に虎疫の流行するあり盤谷に於ては五月二十九日より六月二十五日迄でに虎疫患者九十四名發生して九十四名死亡せし其他淸國汕頭地方にも虎疫流行し居るを以て仁川、群山、釜山の如き開港地は勿論一般に注意を要するを以て天氣定り次第京城にては臨時大淸潔法を行ふと云ふ

平南線の開通期

平南間鐵道の開通期を聞くに來る八月末日迄に全線に亘りて線路の敷設を終り建築材料運搬用の汽關車附列車を運轉せしむる筈なるが去る二十五日迄の工程に就ては平壤を基點として鎭南浦に至る全線延長三十六哩の中既に四哩半に至る間は前記建築材料運搬用汽關車附列車を運轉しつゝあるが近く去日來の降雨の爲め全体に亘り既設線路の基礎に損所を生じたるを以て二十五日より未設線路の延長工事を休止し之が修理に從事しつゝあり又全線に於て架設すべき橋梁工事に就ては既に殆んど其全部を竣工し目下既設橋梁の修繕及び附帶工事等に從事しつゝあり既設線路に對する砂礫の撒布は平壤岐陽間十七哩の間は既に其六分通りを終りたるが前記休止中の平壤より鎭南浦に至る二十四哩半以後の線路の敷設に就ては兩三日の後には再び開始する筈なるが平南間全線に於て些の危險なく一般客車の運轉を爲し得るは降雨其他の事情に依り臨時に起るべき障害を見積り來る九月末日頃なるべしと云ふ

●全北地方學事近狀

全羅北道に於ける學事の近狀左の如し

▲沃溝府 公立群山實業學校は五月開校し地方民は實業教育の施設に多大の同情を表し前途有望なり

▲萬頃郡 私立万頃普通學校は光武九年の創立にして二回十九人の卒業者あり現在生徒百二十六名職員二名なるが卒業者中測量技手二財務主事講習生五其他郵便局財務署に勤務せるものもあり比較的好成績なり

▲扶安郡 私立廣明學校は生徒七十一名あれど不完全なる民家を充て日人教師熱心に教授するも持續困難の姿なり 私立永進學校茁浦にあり校舍は九百圓を投じ新築せしも衰退其極に達し殆んど休校の有樣なれば其筋に於て再び進捗せしめんと手入中なり

▲興德郡 私立光興學校は生徒四十人校舍も新築にて諸事整頓せり一時可なりの繁盛なりし私立興城學校は生徒五十六名あるも萎靡不振日本人教師昨年來就職せるが教育技能乏しきが如し

▲高敞郡 私立陽明普通學校は生徒九十五名諸事整頓し居り管內私立學校中出色なり維持も他に比し優り日人教師島村天瑞氏人格學殖あり介閣高く日韓人の氣受け宜く好果を收めつゝあり

社會小言

英佛何れに似たるか

▲アングロサクソン、シユペリオリテ―中に曰く英人は家庭に生活し、佛人は戶外に生活すと、戶外生活とは何ぞ、家庭を忘れて街衢に漂浪するの謂なり。

▲英人の生活は家庭本位主義なり、されはこそ彼れは其本國にあると殖民地にあるとを問はず、其得るところの收入を以て家庭の幸福を買はんことに勉む、偶餘財あれば之を蓄積して家庭他日の用に供せんとす。

▲佛人は而らず、彼れは家庭を重要視せず、從つて家庭に幸福を求めず、彼れは本國にあると殖民地にあるとを問はず、酒樓、賭博場、劇場等に危險なる快樂を求めて止まず。

▲佛人の集團する所必ずや方外なる酒樓、賭博場、劇場等存す、佛人收入の大部分は之等三者の維持費と化す家庭の費す所僅少部分に屬す。

▲英人は健實なり、佛人は自墮落なり而して半島に於ける我邦人特に京城に於ける我同胞は如何。

▲記者は常に我同胞の佛人に似たるを悲しむ、南山より市內を瞰て其巍峩たる建築の酒樓たるを悲しむ、任を半島經營に受くるの士余輩と感を同ふして可なり。

▲茂長郡 私立東明學校は生徒九十七名諸事整頓管內有數の學校にして基本金二千圓あり教師も授業に熱心にて相當の成績を擧げ居れり私立武昌學校も基本金二千圓あり目下不振なるも相當の教師を得れば多少見込ある可し

▲井邑郡 私立箕南學校は生徒四十名あるも諸事不整頓なり

▲泰仁郡 私立仁成學校現在生徒五十人にして稍整頓し教授も見るに足る點あり前途發達す可し私立仁明學校は生徒二十八名主に儒生の子弟を教育せるも頗る不振なり

●韓國俸給令の準用

警察事務委託に伴ふ其經費は韓政府の當該豫算殘額を其儘繼承するに決し別に約を以て之が取扱を行へる由なるが元來同一政府間の官制改正なれば兎に角假りにも國家を異にするを以て其の過渡期には種々困難なる事情あり殊に豫算關係に於て然らざるを得ず則ち韓國に在ては隨時必要に應じて之を定め得べきも日本に於ては帝國議會閉會中は憲法第七十條の緊急支出を求むるの外他に途なきなり隨つて今回統監府所屬に任用されたる警察官の如きも既に官制の發布と共に俸給令の制定ありたるに拘はらず當分は官等資格のみ定め俸給に關する辭令は或る時期迄は交附せず依然韓政府當時の俸給を其儘準用し居る次第なりと故に現警察官の俸給額は從前通り何等增減なしと云ふ

●無線電信据附準備

滯仁中なりし海軍技師木村博士は三十日光濟號に搭乘島航路標識管理所長と共に無線電信設置豫定地視察の爲め南韓に向ひ島所長は釜山より陸路歸任し同博士は更らに竹邊灣を經て橫須賀に歸任、右電信機据附の準備に着手すべしと云ふ

●土地調査ご諸法規

兼て土地調査局に於て審議中なりし土地調査法、同施行規則、地方土地調査委員會規則、高等土地調査委員會規則等の諸法規は曩に佐々木書記官東上して大藏省當局者と交涉し既に其の成案を確定したるを以て近々發布の手續を爲すべく目下進行中なりと

●趙南升事件落着期

勅書僞造事件に次いで種々の副產物を醸出せる趙南升及其連類に關する取調は既に大畧終了し明石總監部長の裁決を乞ふばかりとなり居れる由なるが連類として當初拘禁されし南廷奎及趙鏞龍は放免され更に金祚鉉なるもの檢擧され居れりと云ふ

●辯護士開業 元大韓日報社長蟻生十郎氏は知友の勸めに依り今般當地に於て辯護士を開業する筈なりと

韓國產の雲母（上）
（關稅局の調査）

一、礦區の位置及廣袤 礦區は城津港より十五里を隔つる端川郡斗日社吾足里錬洞に於ける海拔四千尺余の位置に在り其礦區は吾三浦、錬洞、陽地洞、安歌芝の一部に跨り錬洞を中心として四方一里半餘に在る廣大なる區域にして現今日韓雲母會社の採取許可面積は六十二萬餘坪なるも此他許可區域外に於ける各地の雲母礦區極めて多く端州、吉州、城津の各郡に散布し其礦區に於ける品質の良否は現今試驗中に屬するも其量實に豐富にして採取し盡す迄に數十年を要するならん殊に雲母は電氣工業の發展に伴ひ益々需要興起の傾あれば將來斯業は有望なるべし而して右の外主なる礦區の位置左の如し

礦區	所在地
砲手洞山	端川、吉州兩郡境界
林洞	吉州郡長白社林洞
三巨里	同郡同社三巨里
上八里	同郡同社上八里
農子坪	同郡德山面農子坪
カルパ	城津郡鈫岔面塢水平

全北の水利事業
（藤井水利組合長談）

▲腰橋堤潰決 臨益水利組合の經營に係る腰橋堤の潰決被害に就ては水門假堰約四十間の潰決に止り本工事には何等の影響なし損害額も三百圓を出ず

▲全北の豐作 全州平野廣袤一万町の水田は古來水利に乏しく全部植付を見るは三年間一度の割合なるが本年の降雨には全部殘る限なく植付を畢りたり尤も堤堰の決潰により五百乃至千町步の浸水を來せしも幸に稻秧の浸潰は僅かに二三日間に止まり被害程度も存外高からず收穫皆無の場所は二百町步を超へざるべし是を以上一萬町步の增收に比すれば利損相殺の差は實に偉大なり唯だ全州平野のみならず全北一體は多少の水害は免れざりしも總体の上より打算すれば給水豐かなりしより得たる利益は無論至大なり

▲三大貯水設備 腰橋堤は二千四百町步に灌漑し得べき設備なるが其工程は來十月迄に河水引用水路及貯水設備を畢り貯水池より各要區に通ずる幾條の水路は來年五月末日を以て落成の豫定なり右腰橋堤水利の他近時又た臨益南部水利組合なるものを設け全州川の上流より水を引き二千五百町步に灌漑すべき計畫の他更に臨沃水利組合を設け萬頃江上流より程約八里幅五間の運河を通じ是亦た臨陂沃溝二郡に跨る五千町步灌漑の計畫なり而して南部水利は本年九月より起工來年十月迄に臨沃水利は殆ど同期間完成の豫定なるが以上三大水利による增水は臨益は二十万圓南部臨益は二十万圓臨沃は二十五萬圓總計六十五萬圓の豫想なり然かも臨沃水利は馬韓時代の遺物たる沃溝郡の一部を奔る巾七八間に亘る運河を利用するが爲め工費僅かに五萬圓を計上せるのみ五万圓の資本により年々廿五萬圓の遺利を產するとは嘘の樣な話なり

▲三韓時代の水利 腰橋堤とは古來の者にして水利經營以前迄は貯水池の遺墟とも氣注く者もなかりしに調査の進行に從ひ馬韓時代に於ける大水利池たるを發見したり此他水利に因める箇所を隈なく詮穿せし結果如斯水利設備は到る處に設けられたるものにして臨沃組合の古運河利用の如き亦た其一部に屬せるが今にして之を稽れば郡名の沃溝とは實に是に因めるを知る是によりて見る時は三韓時代に於ける農事の發達は如何に盛に且つ完備せるものやを想像さるべし云々

●和洋金巾分布狀勢

和洋金巾の輸入比較は昨年に於て總輸入額五百五萬七千餘圓中和金巾は三割分洋金巾は六割四步なりし而して洋金巾は殆ど全部英國產にして九割九步を占め米濟兩國產は僅に一步に相當せり昨年度に於ける以上の割合は現時の輸入狀況と殆ど大差なく而して過去十年間に於ける輸入增進の狀況を見るに和金巾は約二倍七分に增加し洋金巾は二倍に充たざる以て增加率に於て和金巾は洋金巾に優ると雖も輸入額に於ては之に及ばず和金巾は種類寡く普通十六封度內外にして外見粗惡なるも堅牢にして且價格廉き點に於て優越せるが故中流以下に需要多く洋金巾は種類多きも十封度乃至十三封度最多く比較的高價なるも外見美なるを以て槪して中流以上の需要多し 地方的消費の趨勢に於ては京畿忠淸南北及黃海道は主要消費地にして今や和洋金巾は混戰の狀態にして勝敗の數未だ明かならざるも和產は漸次英製シーチング生金巾の販路を蠶食し且つ晒金巾は品質に於て英產とは大に趣を異にせるが故外產の侵害を受けず益々隆調に增進せり全南慶南北道地方に於ては殆洋金巾の獨占市場にして尙南北咸鏡江原地方も勢力優越なるが如し之に反し平安全道は和產優勢にして洋產を壓せり其取扱業者は和金巾は全部日本人洋金巾に於ても南韓北韓及平安道方面は日本人の範圍に屬すれ共京仁市場は殆ど全部淸人の獨占の姿更に輸入取扱に於ては和金巾は重立てる紡績會社は特約販賣店を有し洋金巾は其大部を取扱ふ淸商は上海に延取引を以て時の相場により購入せり而して同日本人の取扱に係るものは神戶長崎在外人の手を經或は直接英國より輸入するもの也と

外人の視たる半島

右は某外人の寄稿なるが次號より掲載すべし

●群山實業學校有望

全羅北道沃溝府に新設せる公立實業學校は新築成り去月二十日同校開校式を擧行せるが當時學部よりは澤事務官の臨席あり其他日韓官民數百名參列頗る盛會を極めたりき而して當時の列席者及地方人士は何れも實業教育に多大なる贊意を表し居る事とて同校の前途期待の思ひの外多大なりとは近來の快事と云ふべし

●仁川會議所役員會

仁川商業會議所役員會を二十九日午後一時より開き在韓商業會議所聯合會提出議案に就きて審議する處あり更らに同會議所の將來に就て種々凝議の上會計監督として伊東、村谷（吉）の兩氏を商工調査委員に田中、加藤の二氏を青木會頭より指名して散會したりと

●巡査教習所修業式

三十日午前十時より警務總監部に於て巡査教習生六十二名に對し修業證書を授與せり因に修業生は八月一日各任地へ向け出發すべし

公人私人

▲中島鋭治（東京帝國大學工科大學教授）二十九日入京京城ホテル投宿
▲牧直二（關東都督府技師）廿九日下仁
▲藤井寬太郎（藤本合資會社員）二十九日仁川行
▲門松善太郎（三等主計）廿九日水原行
▲戒田淸澄（江景農銀支配人）同日下仁

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
卅日	一〇五、三〇八、一九	一九八

▲治外法權▼

東京の某新聞に寺內は儀仗兵を從へ、堂々と京城に乘り込んだが顏に得意の色は見せなかつたと書いてある、統監になつて儀仗兵を從へ、夫で得意になれるなら世間之れ以上目出度事はない▲記者の知るところによれば寺內は統監となつたことを榮譽に思つて居ぬのである、彼れは永き間曾禰の後任候補として目されて居たが、彼れ自身はドウかして統監たることを免れんとして居たのである併し目白公や大頭侯やが言葉を盡しての勸めに彼れは彼れ固有の義務心を發揮し、トウトウ引受けることに納得したのである▲ソー云ふ次第で彼れは統監を引受けたのだ、云はゞ知己に感じ甘んじて難局に飛込んだのだ、ドウシテ〳〵得意などになれよう▲副統監の山縣とても然りだ、彼れは掛冠以來田園生活に悠々自適して居たのだ、彼れはダマツテ居ても公爵になれる身分だ、マタ何時でも閣員たることを得る身柄だ、而るに割のあまり良くない副統監を引受け、寺內に附て來るに就ては餘程犧牲の意味が籠つて居るに違ひない▲イツゾヤ在神戶港の潮州丸乘込員から燈臺の事に就いての苦情があつた、ソウしてソレに對して島燈臺局長からの辯明があつた、而るに今度は鐵嶺丸の救助に向かつた各汽船の船長から燈臺守怠慢の非難が出た、由來航海者が生命と賴む燈臺か之れでは困まる當局者は何とかせすばなるまい▲ケチな大阪市民が大奮發で新市長の年俸を一萬二千圓に上げた、ソノ位ゐ額なら我京城には働かずして取つてるものが澤らもある。

吉凶欄 八月一日 舊六月廿五日 五黃 赤口 戊戌 平 △一白 不壯合せの日新事見合せ家族 … 厄の恐れあり△四綠 新事及婚談共同組合の事見合すべし旅行轉住行商進んで吉△五黃 開店起業に不利婚談中裁 … 見合すべし其他大概進んで吉△八白 … に官取引及計算上間違あり△九紫 證券印章の事故障起り易し其他會心の日大抵吉 … 運日なり進退駈引尤々注意を要す盜水業務上疎漏遺脫ある勿れ他は平靜△九

地方水害續報 ▲大同江上流順川郡勝戎浴は去る二十日以來の增水の爲め一時渡船を中止し … 順川慈川間の郵便の遞送をも中止せしも漸次減水昨今回復したり農作物に多 … に報せし處なるが右は今尙は搜索續行中なるも發見せす ▲平安南道淸川江出水の爲め渡船轉覆し乘客九名行衛不明となりたる事は既 … 雨にて同地の河川著しく增水し死者韓人一 浸水家屋及田畑多數の見込なり

●會議所の特別議員 京城商業會議所の現任特別議員（林市 … ）を以て任期滿了に付き會議所にては今三十一日午後七時三十分より總會を開き特別議員の選擧を行ふ

吉凶錄

八月一日（舊六月廿五日）五黄赤口戊戌平●七白 不仕合せの日新規見合せ家族… 盗賊ゆべし△二黒 旅行轉住改革整理に吉取引及計算上間違ありて△三碧 運日なり逃逃騷引尤も注意を要す盗水厄の恐れあり△四綠 新築及婚儀共同組合の事見合すべし旅行轉住行商進んで吉△五黄 開店起業に不利婚儀中裁 衛生上注意すべし△七赤 嫁入れ… 見合すべし其他大概進んで吉△八白 業務上破滿遺敗ある勿れ他は平靜△九紫 證券印章の事故障起り易し其他會心の日大抵吉

地方水害續報

▲大同江上流順川肅川江は去る二十日以來の增水の爲め一時渡船を中止し順川肅川間の郵便の遞送をも中止せしも漸次減水昨今回復したり農作物に多…

▲平安南道价川江出水の爲め渡船轉覆し乘客九名行衛不明となりたる事は既に報せし處なるが右は今尚ほ搜索續行中なるも發見せず

▲…雨にて同地の河川著しく增水し死者…人一校水家屋及田畑を敗の見込なり

●會議所の特別議員 京城商業會議所の現任特別議員（林市…）を以て任期滿了に付き會議所にては今三十一日午後七時三十分より總會を開き特別議員の選擧を行ふ



馬鹿とマルマラ

▽日韓人の注意を要す

日本人の馬鹿と云ふ語は時と場所とに依りて決して惡罵ではないのは恰度韓人のマルマラと同一である、だから日人間志又は韓人同志の對談中に馬鹿又はマルマラは時に甚だ愛嬌があつて却つて親密を表示するかの如に思はるゝが其の言葉のみを知つて深く其の意味に通せざる日韓人間の對談には互に可成使用せぬ如にしたいと云ふのには下の如き理由がある

日『オイ此の甜瓜は幾何だい』

韓『一ッ三錢、高いことないよ、安いよ』

日『馬鹿安いもんか二つ五錢にしろ』

韓『三つ八錢にするよ』

日『巫山戯るなよ馬鹿奴』

韓『マルマラ馬鹿馬鹿つて何が馬鹿か』

日『マルマラだと此ん畜生』

跡は定まりのドタバタである、此れ韓人が此の際に於ける馬鹿の意味を解し得ぬからである

日『ヨボ、和郎は此の頃チットも顔を見せぬがカサでもかいて寢て居たのか』

韓『アニヨ』

日『ナアニ然うだドウモ腰つきが可笑しいからナ、ナップンサラミだなア』

韓『マルマラ イヂヤシが』

日『何にマルマラだ此ん畜生』

此れも又初めは好意ある戯言が喧嘩に終るのである、而して此は日人が同じくマルマラの意味を解して居ないから來るのである、日韓人間の喧嘩とか何んとかは多く根も花もない馬鹿やイヂヤシやマルマラに原因するのである、而して遂に此れが根を生じ枝を交へ葉を着けて意志の阻隔を來すのである、以上の談話が日人同志又は韓人間の夫れであつたならば面白い事を云ふ奴と笑つて濟むべきのだが日韓人間の談話としては遂に不穩の結果を齎すのだ、更にイヂヤシケージャシキに至つては日本人の所謂此ん畜生なるものと其の趣を同ふして決して實際の畜類獸類と云ふ意味ではないのだが此を解せざる相互間に在つては夫れが左樣取れないで怒罵詈輕侮相交るの不詳事を惹起す、一切万事の融和は生嚙りの日本語朝鮮語に依つて破壞せらるゝのであるから互に注意して此の危險なる言語の濫用を愼む如にしたいものだ、又此れ等の言葉は使用しなくとも決して日常交際に差支へはないのみか此れ無きが却つて美しいことなのだから父兄は子弟に誨ゆるに此の意味を以てせられたいと思ふ、就中特に注意を促して置きたいのは巡査や憲兵やの職に在る人は最も心して人民に接し此等の言葉を口にせざるべき樣心掛けられたいものである。（むの字）

相生町の人殺し

▽被害者は原籍不詳の土方
▽加害者は毆打罪の前科者

廿九日午後十二時頃凉み兼ねての散歩客の引きも切らざる旭町一丁目池田商店街路に歌舞伎座方面より駈け來りたる裸体男がヤラレタと一聲叫びも敢へず打ち倒れノタ打ち廻つて苦痛の聲を振り絞るに何事やらんと忽ち人垣を作りたるが白晝の如き燈火の下に見れば彼れは胸部及び腹部に重傷を負ひ鮮血傷口より溢れ出るに一同此れはと斗り打驚ける時しも巡回中の南部署柳沼巡査は人を同署に馳せて應援を求めたるに急を聞きて駈け付け來りし總監部永山巡査と協力し傷者の手當は他人に委ね其の血痕を傳て兇行現場の搜査に向へり

▲兇行の現場 然るに右血痕は現場の搜査に向ひたる二巡査は相生町森庄太郎方構内溫突の一室より出でたるを認たり壁と云はず障子と云はず一面の唐紅にして床は血の海と變し腥氣鼻を衝く内に兩巡査の姿を見て矢庭に室外に躍り出んとする壯漢有しを取押本署に引致したり

▲檢事の出張 急報を得たる地方裁判所伊藤檢事は即刻檢證の爲め現場に出張關係者の取調べをなし更に南部署樓上に假豫審を開き徹宵加害者及び關係者の訊問を續行しつゝあり

▲加害者身分 兇行現場に於て柳沼永山兩巡査の手に捕はれたる壯漢こそ即ち加害者にして廣島縣世羅郡吉川村大字吉原安五郎三男無職立原三左衛門（三十）と云ひ昨年五月渡韓したるものにて被害者牧野榮三郎と同じく前記森庄太郎方の使用人として同構内に起臥しつゝありたる者なり

▲兩人の交情 被害者牧野榮三郎（三十）は本年六月二十三日元山方面より京城に來り同家に住み込みたるにて原籍不詳の由なるが加害者とも平素左したる不和にてはなく何れかと云へば仲好しの方なりしが當日も森の指揮にて本町二丁目佐野鐵物商店裏工事場に連れ立ちて出懸けたるが牧野は都合ありて立原よりは早く歸宅し立原は午後六時半頃仕事を終りたる後親分の森が櫻井學校に行き居りしを尋ね間もなく歸宅したり

▲兇行の動機 斯くて歸宅したる立原は親方の森、朋友の中村及び被害者牧野と四人夕食の膳に對ひ一升程を平げたる後食事を終りしは十時頃なりしが森、中村の兩名は寢に就きしも立原牧野の兩名は何かと雜談に耽る内女の事より話しが縺れたるが立原は平素無口ものなるに引換へ牧野は中々の雄辯者のこととて言ひ負されてムシャクシャ腹の立原が頸を牧野は『參つたか』の調子にて叩きたるに醉ひ居れることとて前後の考へもなく『毆つたナ』と立ち上りたるに牧野は隱し持ちたる短刀にて立原の左の腕に斬り附けしに立原は其の短刀を奪ひ取り滅茶〳〵に斬り附け牧野が痛い〳〵と叫びつゝ電車通りに出でたるを見濟まし血汐に塗れたる短刀及び手其の他を洗ひ逃走せんとし居たる所を逮捕せられたるなりと猶は同人は毆打創傷の前科者なりと

▲關係者取調 證人として森庄太郎金井岩吉宮内三次中村秀次郎等は伊藤檢事の手に依りて午前一時より同十一時二十分に渉り取調べを受け居しが加害者は同時に檢事局へ送り直ちに豫審に附せられたりと聞く處に依れば加害者立原が兇行に使用したる匕首は牧野の所持品にあらず立原の所有物なりとも云ふ而して被害者は約一時間の後遂に落命したりと近來の椿事と云ふべし

谷川三藏の公判

▽圖々しき證據提出

既報谷川三藏に對する私印私書僞造行使詐欺取財並に證書騙取被告事件は二十九日塚原裁判長以下並に兩角檢事出會被告辨護八木尾辨護士出席第二回公判開廷あり裁判長は前回に引續き公判す可き旨宣告し證人として出廷せる家屋新築工事請負八姫野忠一郎、同工事の用材供給者たる仁川木材合資會社京城出張所主任たりし中野金八郎に對し裁判長は型の如く宣誓せしめ訊問に移りしが多く被告人に取りて不利益なる證言なりき其の中谷川が家屋を實兄國吉名義に變更したる後に於て證人等が催促に行きたる度毎に俺れは無財產なり自分の物は首許りなれば首でも取つて行けと云ひ或時は妾連と乳繰り合ひ樂しく飲酒し居るにも拘らず不在と稱し門前拂を命ずる等不都合なる行爲多かりきと云へり證人の訊問終りて辨護人より被告人に利益ある證據書類を提出し更らに本件被告人は犯罪の意思なく工事金並に材木代は支拂ふの意思ありしものにて其の支拂金として金三千圓の貸借契約者あるを以て證人として召喚申請を爲したり兩角檢事は全然其の必要なしと述べ裁判長は合議の上右申請は却下し證據調を終り辨論に移りぬ兩角檢事は儼然たる體にて本件は重大なる如く見ゆれども事件は簡單なり要するに被告谷川の行爲は弱者苛めに過ぎず被告は犯罪事實を否認すること雖も檢事廷並に豫審廷に於て取調の結果證據充分にして當法廷に於て種々なる辨解を爲すと雖ども一として信を措き難し猶は被告は京城工事當時より所謂金筋と稱する業を職として不法極まる非行を逞ふして得たる利得金を以て二人の妾狂ひを爲しつゝありし無賴漢に過ぎず然るに犯罪の意思なかりしと抗辯を爲すと雖も本件第一の犯罪の如き落成家屋よりは三十圓以上毎月家賃を得ながら殘金數千圓は支拂を爲さゞりしためと云ふに非ずや若し果して犯罪の意思なかりしものとせば對手者をして告訴せしむる迄に憤慨せしめず平和に解決す可き筈なりこれを要するに右は罪を免れん爲めの辨解に過ぎず現に被告が被害者に對し或る官憲の信任ある事を肩に着て暴言を吐きたる事實は證據充分也（或る官憲とは前南部署長桐原氏との關係也と）又私印僞造の如きも今日に至り國吉の承諾ありしとか贈與とか辯解すると雖も現に本職並に判事が國吉を取調べたるに全然事情を知らぬ如何に弟と雖も私の印を僞造する杯は不都合なり云々と申立居るに今日に至り贈與とか何とか名義を付けるは最近に惡計を廻らしたるに過ず殊に先に辯護人より提出せる谷川國吉の追認書の如き夙く豫審廷に於て提出す可きものにて決して今日に及びて漸く當法廷に提出す可き書類にあらず民事上の事件ならば格別刑事に付き如斯書類を出すは其の効なきは勿論却つて當該係官の信證を失す可し（續く）

●無法な飲食店主 太平町雜貨商佐久間喜市（三〇）は西部青坡通り料理店松春亭山口松之助方酌婦よねこ（九）なる者に雜貨賣掛代金一圓六十錢あるを屢々督促するも支拂ざるにより飲代と差引なさんと本月二十七日の夜同樓に至り登樓遊興の揚句例の差引き問題を主張したるに何に思けん樓主山口は此の事を附近の同業淫賣屋に告げたるに酌婦に對する賣掛代金を飲食費に流用する杯不都合なりとて一樂亭主永尾利吉花月亭主藤田友槌鳴戶樓矢吹安隆等集り佐久間を袋叩きにして負傷せしめ爲めに傷害罪として西部署に引致され目下取調中なりとは不埒至極な奴輩哉

●ヨボ竊盜の逮捕 住所不定韓人金壽天（二五）は本月二十五日午後八時頃仰成町八十七番戶豐田兵三宅内に忍入り銀側懷中時計（代二十四圓）を竊取し逃走せしを西部署刑事に二十九日午後一時南大門外にて逮捕本署に引致され目下取調中

●昆虫養成所燒失 農商工部の所管に屬する水原勸業模範場附屬昆虫養成場は去る二十四日午前五時三十分落雷の爲め發火し燒失したるが聞く所によれば同所は三個年以前より採取し有りし昆虫多數悉く燒失せりと

●仁川の海水浴場 朝鮮新聞社主催の月尾島海水浴は空前の盛況を呈しつゝあるが本日は仁川民團立小學校生徒千餘名を招待し種々なる競技其他餘興の催ありと云へば定めし賑しからん

●敷島たより 仁川敷島遊廓は此頃思ひの外の繁昌にて絃歌齊囃より漏れ浴衣掛けの娼妓が團扇片手に欄に倚る樣甚氣よくぞ見ゆれ△一昨日例に依りて檢黴を執行したるが總人員六十五名の内局部洗滌を要する者八名入院二名歸國中の者三名自宅休業中の者六名逃亡中の者一名ありしと云ふ

●メソジスト教會 旭町二丁目同教會に於ては三十一日午前九時より日曜學校同十時より聖書研究同十時半木原牧師の禮拜說教「常に喜ぶべし」午後八時より同師の傳道說教「神と世」

●京城基督教會 日の出町同教會にては午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の禮拜說教「人生の負擔」午後八時より傳道說教同師の「性と生命」

●日本基督教會 旭町四丁目同教會にては午前九時より日曜學校同十時より石原牧師の禮拜說教「イエスの試み」午後八時より同師の傳道說教「神の子耶蘇」あり右孰れも參聽隨意のこと

目と耳

▲歌舞伎座 宮岡天外一座の奇術

▲浪花館 三十一日の代り番組は御祝儀の寶入船（入登）信仰記上かんやの段（廣吉）れ駒才三鈴が森の段（越廣）いざりつくなの段（此重）忠臣藏六段目（此千代）三勝半七酒屋の段（仙春）先代萩御殿政岡忠義の段（隅照）日蓮記勘作住家の段（越春）菅原手習鑑寺子屋の段（廣八）大切白木屋（總掛合）三味線（豐澤仙平）毎夜六時より開演いたします

▲壽座 源氏節女芝居三十一日替り藝題は『黑田騷動箱崎文庫』にして役割左の如し
下野惣平（美高）淺井城左衛門、米屋（尾之吉）淺井女房れ綱（淺吉）釆女の方、新屋（雛司）諸士れ照（花尾）重次郎、家主（照代）諸士（喬々子）山脇（雛吉）吉田（今雛）小姓（花子）珍才 美代丸（峯松（君子）

今日の運勢

七月卅一日（舊六月廿四日）●六白大安丁酉滿△一白●隆運なり大抵吉但し貸借●黑 亭通の日商買旅行●婚談探證間違起らん△二黑●商探險婚談進んで吉△三碧●療病衛生に注意し新事旅行見合せの事△四綠●不和中絕避くべし金品授受賣買取引間違起り易し△五黄●自負利得を逸する勿れ情義に驅られ損害あり△六白●證券印章の事注意すべし尚盗害紛失の恐れあり△七赤●散財多き日なり家族使用人の事注意すべし△八白●事業始め開店披露起工命名に吉裁判請願委囑に忌む△九紫●證券及人の身上の事に煩累あり紛失盗失防ぐべし（本町五丁目三一館判斷）

●天氣豫報（自三十日午後六時至卅一日午後六時）
晴後曇
廿九日（華氏）最高溫度 九〇、三 最低溫度 七七、〇